

慶應言語学コロキウム

【*The Minimalist Program* 刊行20周年記念企画】

生成文法の哲学的意義

New Horizons in the Study of Language and Mind を通して

講師: 阿部 潤 氏 (元東北学院大学文学部教授)

日時: 2015年12月12日(土)・13日(日) 13:00-18:30

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス北館3階大会議室

参加費無料 申込不要

本セミナーでは、Chomsky の *New Horizons in the Study of Language and Mind* (2000, Cambridge University Press) を取り上げることによって、生成文法の哲学的基盤の理解を深めることを狙いとする。*The Minimalist Program* (MP) 刊行から20年経つ今日、ほぼ同時期に刊行された論文から成る本書は、MPと共に、当時、言わば車の両輪をなすものであり、生成文法のパラダイムのもと、その最新の理論を追求するMPを、その背後で支える屋台骨のような存在である。発話された総体としての外在的言語ではなく、人間の脳内にある言語能力を研究対象とする「内在的 (internalist) アプローチ」、また、自然科学の一部としてその方法論に従う「自然主義的 (naturalistic) アプローチ」、そして物理的基盤から抽象されたレベルでの研究を進める「心理学的 (mentalist) アプローチ」、生成文法研究が前提とするこれらのアプローチは、他の言語哲学者にとっては、決して自明なこととしては認められていない。生成文法研究の内側にあつて、その理論の発展に貢献することの意義はよく理解され、また実践されもしているが、その外側に発信する意義は理解されつつも、実践するのはなかなかむずかしい。このセミナーが、その意義を深く理解しつつ、そのような活動を生み出す契機になれば幸いである。

New Horizons in the Study of Language and Mind を持参することをお勧めする

主催: 慶應義塾大学言語文化研究所
協力: 慶應義塾大学次世代研究プロジェクト B

<お問い合わせ先>

〒108-8345 港区三田 2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所
電話: 03-5427-1595 (事務室直通) メール: genbu@icl.keio.ac.jp
<http://www.icl.keio.ac.jp>